

放射線検査を受けられる方へ

放射線検査を受ける際、その検査で受ける被ばくについての事前説明を行う事が義務化されました。

放射線検査は、検査で使用する放射線によって被ばくをします。被ばくの程度は、検査の種類（CT検査、骨密度検査、核医学検査など）により異なります。また検査する範囲や体格によっても変化します。放射線検査では、被ばくをする代わりにあなたの身体や病気に関する多くの情報（放射線検査で分かること参照）を与えてくれます。

～放射線検査で分かること～

- ◆ 病気の有無を調べて適切な治療方法を決定する
- ◆ 治療効果を確認する
- ◆ 病気の大きさの変化を調べる
- ◆ 骨の強さを調べる（骨密度）



今回の検査では、放射線による身体への影響より検査で得られる情報の方が大きいと医師は判断しました。【被ばくの正当化】

センター病院では、患者さんの検査目的や体格に合わせて撮影条件を設定しており、可能な限り被ばく線量を低減しています。また、国内ガイドライン（診断参考レベル：DRLs）と比較しても低線量で撮影をおこなっています。【被ばく的最適化】

放射線に被ばくすると脱毛・白内障・皮膚障害（確定的影響）や白血病などがんの発生（確率的影響）がありますが、検査での被ばくはその線量の何十分の1以下となっています。

通常の放射線検査（紹介されるCT・骨密度・核医学）では、健康に影響が出ることはありませんので、安心して検査をお受けください。

CT検査、骨密度検査、核医学検査それぞれで被ばく量は異なります。ご心配のある方は、検査時にスタッフへお尋ねください。

放射線検査についてご不明点等がございましたらお問い合わせください。

お問い合わせ：★予約に関すること 地域連携課紹介予約担当 045-261-5797（直通）
★放射線の被ばくに関すること 放射線部受付 045-261-5656（代表）